

#### 目次

 安全上のご注意	2
	4
こんな使いかたができます	5
準備する	6
各部の名称とはたらき・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	6
	9
一定時間が経つと目動で電源が切れるようにする (ALITO OFF)	9
ハローロ ビー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	10
基本操作	11
奏法について	12
 演奏する	13
ドラム・キットとインストゥルメント	13
ドラム・キットを選ぶ	13
リストからドラム・キットを選ぶ	13
クロス・スティック奏法を使う	13
クリックを鳴らす	14
曲に合わせて演奏する・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	14
オーディオ・プレーヤーの曲に合わせて演奏する・・・・	14
ID-50 のソングに合わせて演奏する	14
リスム・トレーニングをする (QUIET COUNT)	15
お丸に入りのトラム・キットを豆豉する/呼び出す (FAVORITE)	15
録音する	16
演奏を録音する	16
ソングに合わせて演奏を録音する	16
パソコンに接続して録音する	16
USB ドライバーをインストールする	16

インストゥルメントを選ぶ <b>17</b>
演奏する場所の残響を再現する(AMBIENCE) <b>18</b>
ミキサーをエディットする (MIXER)
パッドごとの音量を調節する18
エフェクトをかける <b>19</b>
エディット前のドラム・キットと聴き比べる/戻す (SNAPSHOT)
トフム・十ツトをエナイツト9る (MENU)
音重を設定する
[KII] ホタンやつよみの点灯色を設定する
トフム・キットの名則を変更する
オーディオ・ファイルを取り込む/鳴らg(USER SAMPLE)21
オーティオ・ファイルを取り込む
ユーリー・リンフルをインストゥルメントに割り目にる /鳴らす <b>21</b>
設定する
トリカーの設定
トリカーの設定
トリカーの設定
トリカーの設定       22         パッドの種類を設定する       22         パッドの感度を調節する       22         データをバックアップする       23
トリカーの設定       22         パッドの種類を設定する       22         パッドの感度を調節する       22         データをバックアップする       23         SD カードにバックアップする       23
トリカーの設定       22         パッドの種類を設定する       22         パッドの感度を調節する       22         データをバックアップする       23         SD カードにバックアップする       23         バックアップ・データを SD カードから読み込む       23
トリカーの設定       22         パッドの種類を設定する       22         パッドの感度を調節する       22         データをバックアップする       23         SD カードにバックアップする       23         バックアップ・データを SD カードから読み込む       23         SD カードを初期化する       24
トリカーの設定       22         パッドの種類を設定する       22         パッドの感度を調節する       22         データをバックアップする       23         SD カードにバックアップする       23         バックアップ・データを SD カードから読み込む       23         SD カードを初期化する       24         TD-50 全体の設定をする (SETUP)       24
ドリカーの設定       22         パッドの種類を設定する       22         パッドの感度を調節する       22         データをバックアップする       23         SD カードにバックアップする       23         バックアップ・データを SD カードから読み込む       23         SD カードを初期化する       24         TD-50 全体の設定をする (SETUP)       24         工場出荷時の設定に戻す       24
ドリカーの設定       22         パッドの種類を設定する       22         パッドの感度を調節する       22         データをバックアップする       23         SD カードにバックアップする       23         バックアップ・データを SD カードから読み込む       23         SD カードを初期化する       24         TD-50 全体の設定をする (SETUP)       24         工場出荷時の設定に戻す       24         トラブルシューティング       25
ドリカーの設定       22         パッドの種類を設定する       22         パッドの感度を調節する       22         データをバックアップする       23         SD カードにバックアップする       23         バックアップ・データを SD カードから読み込む       23         SD カードを初期化する       24         TD-50 全体の設定をする (SETUP)       24         工場出荷時の設定に戻す       24         トラブルシューティング       25         操作早見一覧       26

キットをカスタマイズする ..... 17



本機のパラメーターや音色について解説しています。 • MIDI インプリメンテーション MIDIメッセージの詳細資料です。



2. 製品名「TD-50」を選んでください。



**Roland** 

**V**•Drums

DRUM SOUND MODULE

クイック・スタート

日本語

Español

Português

Nederlands



マークについて

本機に表示されているマークには、次のような意味があります。





このマークは、本機の内部に絶縁されていない「危険 な電圧」が存在し、感電の危険があることを警告して います。



図記号の例

このマークは、注意喚起シンボルです。取扱説明書など に、一般的な注意、警告、危険の説明が記載されている ことを表しています。

## 火災・感電・傷害を防止するには

#### ▲警告と▲注意の意味について





#### 完全に電源を切るときは、コンセント からプラグを抜く

電源スイッチを切っても、本機は 主電源から完全に遮断されてはい ません。完全に電源を切る必要が あるときは、本機の電源スイッチ を切ったあと、コンセントからプラグを抜い てください。そのため、電源コードのプラ グを差し込むコンセントは、本機にできる だけ近い、すぐ手の届くところのものを使 用してください。 .....

#### Auto Off 機能について

本機は、演奏や操作をやめてから 一定時間経過すると自動的に電源 が切れます (Auto Off 機能)。自 動的に電源が切れないようにす

るには、Auto Off 機能を解除してください (P.9)。 .....

#### 分解や改造をしない

取扱説明書に書かれていないこと はしないでください。故障の原因 になります。

#### 個人で修理や部品交換はしない

必ずお買い上げ店またはローラン ドお客様相談センターに相談して ください。



## 警告

#### 次のような場所で使用や保管はしない

- 温度が極端に高い場所(直射日) 光の当たる場所、暖房機器の近 く、発熱する機器の上など)
- ・水気の近く(風呂場、洗面台、 濡れた床など)や湿度の高い 場所
- ・湯気や油煙が当たる場所
- ・塩害の恐れがある場所
- 雨に濡れる場所
- ・ほこりや砂ぼこりの多い場所
- ・振動や揺れの多い場所
- ・風通しの悪い場所

#### 不安定な場所に設置しない

転倒や落下によって、けがをする 恐れがあります。



#### 電源プラグは AC100V の電源コンセ ントに差し込む

電源プラグは、必ず交流 (AC) 100Vの電源コンセントに差し込 んでください。

#### 付属の電源コードを使用する

電源コードは、必ず付属のものを 使用してください。また、付属の 電源コードを他の製品に使用しな いでください。





火災や感電の原因になります。



#### 大音量で長時間使用しない

大音量で長時間使用すると、難聴 になる恐れがあります。万一、聴 力低下や耳鳴りを感じたら、直ち に使用をやめて専門の医師に相談 してください。



異物や液体を入れない、液体の入っ た容器を置かない

本機に、異物(燃えやすいもの、 硬貨、針金など)や液体(水、ジュ-スなど)を絶対に入れないでくだ さい。また、この機器の上に液体 の入った容器(花びんなど)を置 かないでください。ショートや誤動 作など、故障の原因となることが あります。







3

#### 電源について

 本機を、インバーター制御の製品やモーターを使った電気製品(冷蔵庫、洗濯機、 電子レンジ、エアコンなど)と同じコンセントに接続しないでください。電気製品の 使用状況によっては、電源ノイズで本機 が誤動作したり、雑音が発生したりすることがあります。電源コンセントを分けることが難しい場合は、電源ノイズ・フィルターを取り付けてください。

#### 設置について

- 本機の近くにパワー・アンプなどの大型トランスを持つ機器があると、ハム(うなり)を誘導することがあります。この場合は、本機との間隔や方向を変えてください。
- 本機をテレビやラジオの近くで動作させると、テレビ画面に色ムラが出たりラジオから雑音が出たりすることがあります。この場合は、本機を遠ざけて使用してください。
- 本機の近くで携帯電話などの無線機器を 使用すると、着信時や発信時、通話時に 本機から雑音が出ることがあります。この 場合は、無線機器を本機から遠ざけるか、 電源を切ってください。
- 極端に温湿度の違う場所に移動すると、 内部に水滴が付く(結露する)ことがあり ます。そのまま使用すると故障の原因に なります。数時間放置して、結露がなくなっ てから使用してください。
- ・設置条件(設置面の材質、温度など)によっては、本機のゴム足が設置した台などの表面を変色または変質させることがあります。
- 本機の上に液体の入った容器などを置かないでください。また、表面に付着した液体は、速やかに乾いた柔らかい布で拭き取ってください。

#### お手入れについて

変色や変形の原因となる、ベンジン、シンナー、アルコール類は使用しないでください。

#### 修理について

- お客様が本機または付属品を分解(取扱説明書に指示がある場合を除く)、改造された場合、以後の性能について保証できなくなります。また、修理をお断りする場合もあります。
- 修理を依頼されるときは、事前に記憶内 容をバックアップするか、メモしておいて ください。修理するときには記憶内容の 保存に細心の注意を払っておりますが、メ モリー部の故障などで記憶内容が復元で きない場合もあります。失われた記録内 容の修復に関しましては、補償も含めご 容赦願います。
- ・当社では、本機の補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を、
   製造打切後6年間保有しています。この部品保有期間を修理可能の期間とさせていただきます。なお、保有期間を過ぎたあとでも、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、またはローランドお客様相談センターにご相談ください。

#### その他の注意について

- 記憶した内容は、機器の故障や誤った操作などによって失われることがあります。
   失っても困らないように、大切な記憶内容はバックアップしておいてください。
- 失われた記憶内容の修復に関しましては、 補償を含めご容赦願います。
- ・故障の原因になりますので、ボタン、つまみ、入出力端子などに過度の力を加えないでください。
- ディスプレイを強く押したり、叩いたりしないでください。
- ケーブルを抜くときは、ショートや断線を 防ぐため、プラグ部分を持って引き抜い てください。
- 本機は多少発熱することがありますが、 故障ではありません。
- ・周囲に迷惑がかからないように、音量に 十分注意してください。
- 床や壁を通じての振動は意外によく伝わります。周囲に迷惑がかからないように注意しましょう。
- 本機が入っていた梱包箱や緩衝材を廃棄 するときは、各地域のゴミの分別基準に 従ってください。
- ・打面部のゴム部品には、性能維持のため に劣化防止剤などを塗布してあります。
   時間経過に伴い、これらの添加剤が表面
   に現れて、白く汚れたように見えたり、製
   品検査時のスティック痕が見えたりする場
   合がありますが、製品の性能や機能には
   影響ありませんので、安心してお使いくだ
   さい。
- ご使用の年月とともに、ボタンやつまみの表面が変色することがありますが、使用上影響はありません。
- ・抵抗入りの接続ケーブルは使用しないで ください。

#### 外部メモリーの取り扱い

- 外部メモリーを使うときは次の点に注意してください。また、外部メモリーに付属の注意事項を守ってお使いください。
  - 読み込み中や書き込み中には取りはず さない。
  - 静電気による破損を防ぐため、取り扱う 前に身体に帯電している静電気を放電 しておく。
- メモリー・カードのメーカーや種類によっては、本機で正しく録音や再生ができないことがあります。

#### メモリー・カードの書き込み禁止(LOCK)機能に ついて

 ・メモリー・カードの側 書き込み禁止スイッチ 面にある書き込み禁止スイッチを「LOCK」 方向にスライドさせる と、書き込み禁止になってメモリー・カー ド内のデータを保護します。録音やデー タの編集をするときは、書き込み禁止を

 シの編集を9るとさは、書き込み禁止を 解除してください。
 メモリー・カードは消耗品です。メモリー・

カードは恒久的な保存場所ではなく、一時的な保存場所としてお考えいただき、 大切なデータは、別のメディアにバックアッ プされることをおすすめします。

#### 知的財産権について

- 第三者の著作物(音楽作品、映像作品、 放送、実演、その他)の一部または全部 を、権利者に無断で録音、録画、複製あ るいは改変し、配布、販売、貸与、上演、 放送などを行うことは法律で禁じられてい ます。
- 第三者の著作権を侵害する恐れのある用途に、本製品を使用しないでください。
   お客様が本製品を用いて他者の著作権を侵害しても、当社は一切責任を負いません。
- ・製品に内蔵、付属されたコンテンツ(音 色波形データ、スタイル・データ、伴奏 パターン、フレーズ・データ、オーディオ・ ループ、画像データなど)の著作権は当 社が保有しています。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツ(ただしデモ曲などの楽曲データは除く)を 素材として、お客様が新たな作品を制作、 演奏、録音、配布をすることに関しては、 当社の許諾を必要としません。
- 製品に内蔵、付属されたコンテンツを、
   そのまま、もしくは酷似した形態で取り出し、別の記録媒体に固定して配布したり、
   コンピューター・ネットワークを通じて公開したりすることはできません。
- MMP (Moore Microprocessor Portfolio) はマイクロプロセッサーのアー キテクチャーに関する TPL (Technology Properties Limited) 社の特許ポートフォ リオです。当社は、TPL 社よりライセンス を得ています。
- MPEG Layer-3 オーディオ圧縮技術 は、Fraunhofer IIS 社と THOMSON multimedia 社よりライセンスを得てい ます。
- ・ SD ロゴ (*≤*>) および SDHC ロゴ ( ) は SD-3C、LLC の商標です。
- ASIO は、Steinberg Media Technologies GmbHの商標およびソフ トウェアです。
- 本製品には、イーソル株式会社のソフト ウェアプラットフォーム「eParts™」が搭 載されています。
- 本製品は、T-Engine フォーラム(www. t-engine.org)のT-License 2.0 に基づ きµT-Kernel ソースコードを利用してい ます。
- Roland、V-Drums、BOSS は、日本お よびその他の国におけるローランド株式 会社の登録商標または商標です。
- ・文中記載の会社名および製品名は、各社の登録商標または商標です。

## 音色カスタマイズで、表現の幅を広げる

#### 豊富な音色と、自由度の高い音色カスタマイズ

- 幅広い音楽ジャンルに対応するドラム・キットを搭載しています。
- シェルの深さやチューニングなどのドラム自体のカスタマイズから、アンビエンスやエフェクトの調節まで含めた、幅広い音作りが可能です。
- エディット中のドラム・キットを一時的に保存しておき、現在の設定と聴き比べたり設定を戻したりすことができる、「スナップショット」機能を 搭載しています。
- ドラム・キットごとに、つまみやボタンの点灯色を変えることができます。

#### より個性的な音作り

SD カードからオーディオ・ファイルを取り込むことができる、「ユーザー・サンプル」機能を搭載しています。内蔵音色と重ねて発音できるレイ ヤー機能 (SUB INSTRUMENT) (P.17) と組み合わせることで、より個性的な音作りが可能です。

## 演奏を楽しむ、練習する

#### 曲に合わせて演奏する

- MIX IN 端子にオーディオ・プレーヤー(スマートフォン)などを接続して、お好みの曲に合わせたドラム演奏を楽しむことができます。
- SD カードのオーディオ・ファイル (WAV、MP3)を再生しながら、お好みの曲に合わせたドラム演奏を楽しむことができます。スピード・ コントロールや A-B リピート機能を使えば、難易度の高い曲にも挑戦できます。また、セッション感覚で楽しめるループ・フレーズを本体に 収録しています。

#### 演奏を録音する

自分の演奏を、手軽に録音/再生することができます。演奏の記録だけでなく、客観的に聴き返すことで練習にも役立ちます。

•本体に録音した演奏は、オーディオ・ファイルや SMF で書き出すことができます。

#### リズム・トレーニングをする

クリック(メトロノーム)機能に加え、テンポ感覚を養うのに最適な「クワイエット・カウント」機能を搭載しています。

. . . . . . . . . . . . .

#### -ディングやライブ レコー で使う

#### 参照

詳しくは『リファレンス・マニュアル』 (PDF) をご覧ください。

#### パソコンに接続して使う

パソコンと接続して、マルチ・トラックで DAW にオーディオ/ MIDI 録音することができます。

#### 多彩なクリック出力

内蔵のクリックを鳴らすことはもちろん、SD カードのオーディオ・ファイルをクリック・トラックとして出力することで、 ソングに合わせてクリック を鳴らすこともできます。また、ヘッドホンだけにクリックを出力することもできます。

## 利用するシーンに合わせたオーディオ・ルーティング設定

各パッドの演奏音やエフェクトを、どのアウトプットから出力するか指定することができます。 レコーディングやライブなど、シーンに合わせたルーティングを設定できます。

#### 順番にドラム・キットを呼び出す

ドラム・キットを呼び出す順番を指定しておき、すぐに呼び出すことができる「セット・リスト」機能を搭載しています。 ライブでの曲順に応じてドラム・キットを切り替えたいときに便利です。

English

## 14 ページ

17 ページ

21 ページ



16 ページ

15 ページ

PDF

çai	
S	

Fran

Italiano

Españo

## 各部の名称とはたらき

## トップ・パネル



番号	操作子	説明	ページ
0	[MASTER] つまみ	MASTER OUT 端子から出力される音量を調節します。	P.11
U	[PHONES] つまみ	PHONES 端子に接続したヘッドホンの音量を調節します。	P.11
0	TRIG SELECT		
	[LOCK] ボタン	[LOCK] ボタンを押してボタンを点灯させると、パッドを叩いても、設定するパッドが切り替わらなくなります。	
	[RIM] ボタン	リム対応のパッドを使うときに、ヘッド側とリム側のどちらを設定するのかを選びます。3 ウェイ・トリガー対応パッドの場合は、 ヘッド側、リム側、ベル側を切り替えます。	P.17
	SELECT [◀] [▶] ボタン	安定の対象となるバッド(トリガー・インプット番号)を選びます。	
	[F1] ~ [F5] ボタン (ファンクション・ボタン)	ディスプレイの表示によって機能が変わるボタンです。ディスプレイ上部に表示されているタブを切り替えたり、ディスプレイの上下部分に表示されている機能を設定したりできます。	
	[R1] ~ [R3] つまみ (ロータリーつまみ)	ディスプレイの表示によって機能が変わるつまみです。ディスプレイ下部に表示されている機能の値を変更できます。	P.11
3	PAGE [UP] [DOWN] ボタン	PAGE [UP] [DOWN] ボタンが点灯しているときに押すと、画面のページを切り替えます。	
	TRIGGER ACTIVITY インジケーター	パッドからのトリガー信号(パッドが叩かれたときに出力される信号)を受信すると、点灯します。パッドが正しく接続されているかをチェックできます。	
	ディスプレイ	操作に応じて、いろいろな情報を表示します。	-
	[MIX IN] つまみ	フロント・パネルとリア・パネルにある MIX IN 端子の入力音量を調節します。	-
	[SONG] つまみ	ソング(オーディオ・ファイル)の音量を調節します(内蔵ソングのドラム演奏音や、録音したドラムの演奏音には効きません)。	-
	[SONG] ボタン	SONG 画面を表示します。 ソングや録音したデータの再生や、 ソングに関する設定をするときに押します。	P.14
•	[CLICK] つまみ	クリックの音量を調節します。	-
4	[CLICK] ボタン	クリックを鳴らしたり、テンポやクリックの設定をしたりします。また、リズム・トレーニングをするときに押します。	P.14 P.15
	[▶/■] ボタン	ソングや録音したデータを再生/停止します。	P.14
	[•] ボタン	演奏を録音するときに押します。	P.16
6	<b>5 フェーダー</b> キック、スネア、ハイハット、その他の打楽器、アンビエンスなどの音量を調節します。		P.11
	[KIT] ボタン	DRUM KIT 画面を表示します。	P.13
	[-] [+] ボタン	ドラム・キットを切り替えたり、値を変えたりするときに使います。	P.11
6	[EXIT] ボタン	ー度押すと、1 つ上の階層の画面に戻ります。続けて何度か押すと、最終的に DRUM KIT 画面に戻ります。 また、[SHIFT] ボタンを押しながら [EXIT] ボタンを押すと、発音しているすべての音を止める(消音する)ことができます (ALL SOUND OFF)。多くのループ・フレーズを一度に停止させるときに便利です。	P.11
Ŭ	[ENTER] ボタン	値の確定や操作を決定するときに押します。	P.11
	[SHIFT] ボタン	他のボタンと組み合わせて使います。このボタンを押している間、他のボタンの機能が変わります。	-
	[PREVIEW] ボタン	インストゥルメントを試聴するボタンです。ボタンを押す強さで音量が変わります。 SELECT[◀] [▶]ボタンでトリガー・インプット番号を選べば、TD-50にパッドが接続されていなくても、音を聴くことができます。	-
0	[▲] [▼] [◀] [▶] ボタン(カーソル・ボタン)	カーソルを移動します。	P.11
	ダイヤル	[-] [+] ボタンと機能は同じです。ドラム・キットや設定値を一度に大きく変えたいときに、このダイヤルを使います。	P.11

#### 準備する

English

日本語

	1		
番号	操作子	説明	ページ
	KIT CUSTOMIZE		
		インストゥルメント(音色)を設定します。	
	[INSTRUMENT] ボタン	また、[SHIFT] ボタンを押しながら [INSTRUMENT] ボタンを押すと、インストゥルメントのエディット(V-EDIT)のページへ直接移動することができます。	P.17
•	[AMBIENCE] ボタン	ドラムを演奏している部屋の大きさや鳴りを設定します。	P.18
	[MIXER] ボタン	パッドごとの音量、パン、マルチ・エフェクト、イコライザー、コンプレッサーなどを設定します。	P.18
	[SNAPSHOT] ボタン	エディット中のドラム・キットを一時的に保存しておき、現在の設定と比較したり設定を戻したりすことができます (スナップショット機能)。	P.19
		データの保存や読み出しなど、SD カードに関する操作をします。	
	[SD CARD] ボタン	また、[SHIFT] ボタンを押しながら [SD CARD] ボタンを押すと、ドラム・キットやインストゥルメントなどの設定をコピー することもできます。	P.23
		出力先の設定(アウトプット・アサイン)や MIDI の設定など、TD-50 全体に関する機能の設定をします。	
9	[SETUP] ボタン	また、[SHIFT] ボタンを押しながら [SETUP] ボタンを押すと、ユーザー・サンプルを取り込むなどのユーザー・サンプル 機能 (P.21) を使うことができます。	P.24
	[TRIGGER] ボタン	トリガー・パラメーターの設定をします。	P.22
	[SET LIST] ボタン	セット・リストの作成や、セット・リストで指定した順番でドラム・キットを切り替えるときに使います。セット・リスト機能がオンのときは、[SET LIST] ボタンが点灯します。	➡ PDF

## サイド・パネル / フロント・パネル

サ	イド・パネル/フ	<b>クロント・パネル</b>		euts
				6
				Français
	ヘッドホン			Italiano
番号	端子	説明	ページ	
A	USB COMPUTER 端子	TD-50 とパソコンを USB ケーブルで接続します (P.16)。 DAW ソフトウェアを使って、TD-50 の演奏をオーディオや MIDI で録音したり、パソコンで再生した音を TD-50 で鳴らしたりすることができます。	➡ PDF	$\subseteq$
B	SD カード・スロット	市販の SD カード (SDHC カード (32GB) まで対応)を挿入します。 SD カードには、ソングや TD-50 のデータを保存することができます。 また、ユーザー・サンプルの取り込みや、録音したソングのエクスポートなどにも使います。 初めて SD カードを使うときは、本機で SD カードを初期化(フォーマット)してください (P.24)。 ※画面に [Processing] と表示されている間は、絶対に電源を切ったり、SD カードを抜いたりしないでください。	P.16 P.23	Españ
G	PHONES 端子	ヘッドホンを接続します。 ヘッドホンを接続しても、アウトプットの各端子からは音が出力されます。	-	<u> </u>
	MIX IN 端子	オーディオ・プレーヤー(スマートフォン)などのオーディオ再生機器を接続します。	-	l

## ボトム・パネル

## スタンドに取り付ける

- ドラム・スタンド (別売:MDS シリーズ) に付属の音源マウンティング・プレートを使って、 TD-50 をドラム・スタンドに取り付けます。
- TD-50の底面にあるネジを使って、図のように取り付けてください。
- ※ TD-50 の底面にあるネジ以外は使わないでください。故障の原因になります。
- ※本機を裏返すときは、破損を防ぐためボタンやつまみなどを保護してください。また、 落下や転倒を引き起こさないよう取り扱いに注意してください。

#### XE

シンバル・スタンドなどに TD-50 を取り付ける場合は、オール・パーパス・クランプ (別売: APC-33)を使って音源マウンティング・プレートを固定してください。取り付け可能なパイプの直径は、10.5~28.6mmです。

音源マウンティング・ ļ プレート Ď

広い

狭い

j i

7

Português

Nederlands



※ 他の機器と接続するときは、誤動作や故障を防ぐため、必ずすべての機器の音量を絞り、すべての機器の電源を切ってください。

#### 準備する

## 電源を入れる/切る

- ※ 正しく接続したら (P.8)、必ず次の手順で電源を入れてく ださい。手順を間違えると、誤動作をしたり故障したりするこ とがあります。
- ※ 電源を入れる/切るときは、音量を絞ってください。音量を絞っ ても電源を入れる/切るときに音がすることがありますが、故 障ではありません。

## 雷源を入れる

#### 1. TD-50 と接続した機器の音量を最小にします。

#### **2.** TD-50 の [0] スイッチを押します。

電源を入れると、以下の画面が表示されます。



この画面では、AUTO OFF 機能を有効にする/無効にするかを 設定できます。

ボタン	説明
[F1] (OFF) ボタン	電源は自動的に切れません。
[F4](4 HOURS) ボタン	4時間以内にパッドを叩かなかったり何も操作をしなかったりすると、自動的に電源が切れます。

AUTO OFF 機能を「OFF」に設定していると、この画面は表示 されません。

#### XE

デジタル接続対応のパッドを接続していると、パッドの設定画 面が表示されることがあります。詳しくは「デジタル接続対応 パッドの設定」(P.8)をご覧ください。

#### 3. 接続した機器の電源を入れ、音量を調節します。

#### 電源を切る

#### ご注意!

TD-50 で変更した値は、電源を切るときにも保存されます。 必ず [0] スイッチを押して、電源を切るようにしてください。

- 1. TD-50 と接続した機器の音量を最小にします。
- 接続した機器の電源を切ります。

#### **3.** TD-50 の [0] スイッチを押します。

[Please wait. Now saving...] と表示され、設定が保存される と電源が切れます。

※ 完全に電源を切る必要があるときは、この機器の電源スイッ チを切ったあと、コンセントからプラグを抜いてください。詳 しくは「完全に電源を切るときは、コンセントからプラグを抜 く」(P.2)をお読みください。



#### **2.** PAGE [UP] [DOWN] ボタンとファンクション・ボタンで、 「AUTO OFF」を選びます。

AUTO OFF 画面が表示されます。

OTO OFF SET	IING	
da	Auto Off	4 HOURS
	The TD-50 will autom: turn off if not playe in any way after 4 ho	atically d or used urs.

3. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、オート・オフ機能の 設定をします。

設定値	説明
OFF	電源は自動的に切れません。
4 HOURS	4時間以内にパッドを叩かなかったり何も操作をし なかったりすると、自動的に電源が切れます。

#### 4. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

#### XE

AUTO OFF 機能を「4 HOURS」に設定していると、電源が 切れる 30 分前に「WARNING: AUTO OFF, The TD-50 will turn off in 30 min.」のメッセージが表示されます。

## ハイハットの設定をする

V ハイハット VH-13 または VH-11 を使うときは、TD-50 でオフ セットの調整をしてください。 オープン、クローズやペダルの動きを正しく検出するために必要 です。

#### VH-13 の設定をする

- 1. [TRIGGER] ボタンを押します。
- **2.** PAGE [UP] ボタンを数回押して、最上部のページを表示します。
- 3. [F4] (HI-HAT) ボタンを押します。

TRIGGER HI-HAT 画面が表示されます。



- **4.** [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、Trig Type を [VH13] に設定します。
- 5. [F5] (OFFSET) ボタンを押します。

VH OFFSET ADJUSTMENT 画面が表示されます。



**6.** VH-13 のクラッチ・スクリューをゆるめ、ハイハットを閉じた状態にします。

※ ハイハット本体やペダルには触らないでください。

7. [F5] (EXECUTE) ボタンを押します。



約3秒でオフセットが自動的に調整されます。 [TRIGGER] ボタンが点滅から点灯に変わります。

8. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

#### 参照

必要に応じて、パラメーターを微調整します。詳しくは『リファ レンス・マニュアル』(PDF)をご覧ください。 VH-11 の設定をする

- 1. ハイハットがモーション・センサー・ユニットから完全に 離れた状態で、TD-50の電源を入れます。
- VH-11のクラッチ・スクリューをゆるめ、ハイハットをモーション・センサー・ユニットの上に自然に置いた状態にします。
- 3. [TRIGGER] ボタンを押します。
- **4.** PAGE [UP] ボタンを数回押して、最上部のページを表示します。
- 5. [F4] (HI-HAT) ボタンを押します。
- **6.** [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、Trig Type [VH11] に設定します。
- 7. TD-50 の画面右側に表示されるメーターを見ながら、 VH-11 の VH オフセット調整ネジを回して調整します。 メーターにトイが表示されるように調整します。



8. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

#### 参照

必要に応じて、パラメーターを微調整します。詳しくは『リファ レンス・マニュアル』 (PDF) をご覧ください。

#### 準備する

## 基本操作



## 奏法について

TD-50は、アコースティック・ドラム同様、さまざまな奏法に対 応しています。

#### ご注意!

- 木製や樹脂製のスティックをお使いください。カーボン製 や金属製のスティックを使うと、センサーが誤動作するこ とがあります。
- ナイロン製のブラシをお使いください。金属製のブラシを 使うと、センサーが誤動作したりパッドを傷つけたりするこ とがあります。

## パッド

奏法	説明
<b>ヘッド・ショット</b>	ヘッド部を叩きます。 特定のスネア音色では、ヘッドの中心から外周部にか けて叩いた位置の違いによる自然な音色変化が得られ ます。
אעבעי-עע געבעי-אע	ヘッド部とリム部を同時に叩きます。 ヘッド・ショット時とは異なる音色 (リム音色) が鳴ります。
クロス・スティック 奏法	ヘッドに手を置きながらリム部を叩きます。 スネア音色では、リム・ショット奏法時にはリム音色、 クロス・スティック奏法時にはクロス・スティック音色と いうように、各奏法に対応した音色を鳴らし分けること ができます。 IN (2 SNARE) 端子に接続するか、クロス・ス ティック奏法が可能なデジタル接続対応のパッド (PD-140DS など) を接続して、スネアに割り当てます。 ※ PD-140DS 以外は、ヘッドに触れないようにリム部 のみを叩きます。 ※ 一部のスネア音色では、音色の鳴らし分けができな い場合があります。
ブラシ奏法	ブラシでこする表現(ブラシ・スイープ奏法)ができます。 TRIGGER IN(2 SNARE)端子にメッシュ・ヘッドのパッドを接続するか、ブラシ奏法が可能なデジタル接続対応のパッド(PD-140DS など)を接続して、スネアに割り当てます。 さらに、ブラシ演奏に対応したインストゥルメントをスネアのヘッド側に割り当て、Brush Switch を「ON」にします。 詳しくは「リファレンス・マニュアル」(PDF)をご覧ください。

## リム・ショットのニュアンスによる音色変化

特定のスネア音色やタム音色では、リム・ショットの微妙な叩き かたの違いによって音色のニュアンスが変化します。

奏法	説明
通常のリム・ショット (オープン・リム・ショット)	
	ヘッド中心部とリム部を同時に叩きます。
<b>浅いリム・ショット</b> (シャロウ・リム・ショット)	
	ヘッドのリムに近い部分とリム部を同時に叩きます。

## ハイハット

奏法	説明
オープン/クローズ	ハイハット・スタンドのペダルの踏み込み具合により、 オープンからクローズまでハイハットの音色が連続 的に変化します。 フット・クローズ (ペダルを踏み込んで鳴らす) やフッ ト・スプラッシュ (ペダルを踏み込んで瞬時にオー プンして鳴らす) も可能です。
プレッシャー (VH-13)	クローズ状態からさらにペダルを踏み込んでハイ ハットを叩くと、踏み込む強さに応じて変化したク ローズの音色を鳴らすことができます。 ※ VH-11、FD-9、FD-8 はプレッシャーに対応して いません。
ボウ・ショット	トップ・ハイハットの打面を叩く奏法です。接続した トリガー・インプットのヘッド側の音色が鳴ります。
<b>בעילי אישר</b> בעילי אישר בעילי לעיד	トップ・ハイハットのエッジ(端)をスティックのショ ルダー部で叩く奏法です。図のエッジ・センサーの 位置が叩かれたときに、接続したトリガー・インプッ トのリム側の音色が鳴ります。 ※ エッジを真横から叩いても正しく鳴りません。図 のように叩いてください。

<sup>※</sup>トップ・ハイハットの裏側やボトム・ハイハットは叩かないでく ださい。故障の原因になります。

## シンバル

奏法	説明
ボウ・ショット 打点位置による ニュアンスの変化	シンバルの打面を叩く最も一般的な奏法です。 接続したトリガー・インプットのヘッド側の音色 に対応します。 特定のライド音色では、ボウ部の打点位置に 応じて音色のニュアンスが変化します。
<b>エッジ・ショット</b>	エッジ(シンバルの端)をスティックのショル ダー部で叩く奏法です。図のエッジ・センサー の位置が叩かれたときに、接続したトリガー・ インプットのリム側の音色が鳴ります。
	ベル部を叩く奏法です。図のベル部が叩かれ たときにベルの音色が鳴ります。 TRIGGER IN (10 RIDE - BELL) 端子に 対応するパッドを接続するか、ベル・ショッ ト奏法が可能なデジタル接続対応のパッド (CY-18DR など)を接続して、ライドに割り 当てます。
チョーク奏法 ******	シンバルを叩いたあと、エッジ・センサーを手 でチョークする (つかむ) と、音が止まります。 CY-18DR は、センサーに手を置いても音が 止まります。 チョーク状態で叩くと、音が短く鳴ります。

## ドラム・キットとインストゥルメント

TD-50 では、各パッドを叩いたときに鳴る音色を「インストゥルメ ント」と呼びます。各パッドに割り当てた音(インストゥルメント) のセットを「ドラム・キット」と呼びます。



ドラム・キットの構成は、以下のようになっています。



#### English ドラム・キットを選ぶ 1. [KIT] ボタンを押します。 DRUM KIT 画面が表示されます。 DRUM KIT TD-50 日本語 2. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、ドラム・キットを選 びます。 DRUM KIT 画面について Deutsch この画面は、[KIT] ボタンを押すと表示される、TD-50の基本と なる画面です。 テンポ(キット・テンポが ブラシ・アイコン (Brush 「ON」のときのみ表示) Switch が「ON」のときのみ表示) J=120 フェイバリット・アイコン ЭВЫМ КІТ (フェイバリット (P.15) に登録しているドラム・ 50 TD-キットを選んでいるとき Français Kit **16 +**2-5 のみ表示) ドラム・キットの ユーザー・サンプル・アイコン ドラム・キット名 番号 (ユーザー・サンプル (P.21) を使っているドラム・キットを 選んでいるときのみ表示) リストからドラム・キットを選ぶ Italiano DRUM KIT 画面で [R1] (LIST) つまみを回すと、KIT LIST が 表示され、一覧からドラム・キットを選ぶことができます。 DRUM KIT LIST KIT LIST TD-50 Kit Name 1 Kit Name 2 lici Kit Name 3 Kit Name 4 Españo クロス・スティック奏法を使う TRIGGER IN 端子に接続したパッドのとき [F4] (XSTICK) ボタンを押すたびに、スネアのパッドでクロス・ スティック音 (P.12) を鳴らす/鳴らさないの切り替えができ ます。 XSTICK Português DRUM KIT クロス・スティック奏法に対応した、デジタル接続対応

のパッド (PD-140DS など)のとき

トリガー・インプットをスネアに割り当てると(P.8)、常時クロス・スティック奏法が可能になります。 このとき、画面に XSTICK アイコンは表示されません。 Nederlands

## クリックを鳴らす

## クリックをオン/オフする

#### 1. [CLICK] ボタンを押します。

#### CLICK 画面が表示されます。



2. [F1] (TEMPO) ボタンを押します。

#### 3. [F5] ボタンを押します。

クリックが鳴ります。

[CLICK] つまみでクリックの音量を調節できます。

#### 4. もう一度、[F5] ボタンを押します。

クリックが止まります。

#### XE

[SHIFT] ボタンを押しながら [CLICK] ボタンを押して、クリックをオン/オフすることもできます。

#### 参照

ヘッドホンだけにクリックを出力することもできます。詳しくは 『リファレンス・マニュアル』 (PDF) をご覧ください。

#### テンポを変更する

**1.** CLICK 画面(TEMPO タブ)で [R1] つまみを回して、 テンポを変更します。

#### 拍子の設定を変更する

- CLICK 画面(TEMPO タブ)で[R2] つまみを回して、 拍子の設定を変更します。
- 2. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

#### 参照

その他の設定については、『データ・リスト』 (PDF) をご覧 ください。

## 曲に合わせて演奏する

#### オーディオ・プレーヤーの曲に合わせて演 奏する

MIX IN 端子にオーディオ・プレーヤー(スマートフォン)などを 接続して、曲に合わせて演奏してみましょう。

- MIX IN 端子にオーディオ・プレーヤーを接続します (P.7、P.8)。
- 2. オーディオ・プレーヤーを再生します。
- 3. [MIX IN] つまみを回して、曲の音量を調節します。

## TD-50 のソングに合わせて演奏する

TD-50 は、いろいろなジャンルの曲(ソング)を内蔵しています。 内蔵ソングには、オーディオ・データのものと、ドラム演奏を録 音したもの(MIDI データ)があります。 また、SD カードに入れたオーディオ・ファイル(WAV / MP3) をソングとして再生することができます。 ソングに合わせて演奏してみましょう。

#### 1. [SONG] ボタンを押します。

SONG 画面が表示されます。



 [F1] ~ [F3] ボタン、[-] [+] ボタン、またはダイヤ ルで、ソングを選びます。

ボタン	説明
[F1] (INTERNAL) ボタン	内蔵ソング
[F2](SD CARD)ボタン	SD カードのソング
[F3] (REC DATA) ボタン	本体または SD カードに録音したソング

#### 3. [▶/■] ボタンを押します。

選んだソングが再生されます。

操作子	機能
[▶/■] ボタン	ソングの再生/停止
[▲] (➡) ボタン	ソングの先頭に移動
[▼] (►) ボタン	ソングの末尾に移動*
[◀] (◀◀) ボタン	ソングの早戻し*
[▶] (▶▶) ボタン	ソングの早送り*
[SONG] つまみ	ソング(オーディオ・ファイル)の音量調節

\*ソングの種類によっては、無効になることがあります。

#### 参照

- ソング全体を繰り返して再生したり、一定区間を繰り返して再生したりすることができます。詳しくは『リファレンス・マニュアル』(PDF)をご覧ください。
- SD カードのオーディオ・ファイルをクリック・トラックとして出力することで、ソングに合わせてクリックを鳴らすことができます。詳しくは『リファレンス・マニュアル』(PDF)をご覧ください。

#### パソコンから SD カードにオーディオ・ファ イルを保存するときは

- SD カードのトップ・ディレクトリー(一番上の階層)だけ でなく、フォルダー内に保存されたオーディオ・ファイルも 再生することができます。
  - ※ 1 つのフォルダーに保存するファイルは 200 個以内に してください。
  - ※ファイル・サイズは、1ファイルが2GB以内になるようにしてください。

#### 参照

- 詳しくは『リファレンス・マニュアル』 (PDF) をご覧く ださい。
- TD-50 で再生できるオーディオ・ファイル

	WAV ファイル	MP3 ファイル
形式(拡張子)	WAV (.wav)	MP3 (.mp3)
サンプリング周波数	44.1kHz	44.1kHz
ビット数	16、24 ビット	64kbps ~ 320kbps

※16文字以上のファイル名やフォルダー名は、正しく表示されません。また、2バイト文字を使ったファイルやフォルダーには対応していません。

## 演奏する

English

日本語

Deutsch

Français

Italiano

## リズム・トレーニングをする QUIET COUNT

TD-50 には、テンポ感覚を養うのに最適な「クワイエット・カウン ト」機能を搭載しています。

クワイエット・カウントは、身体でテンポを覚えるためのトレーニ ング機能です。最初の数小節は設定された音量でクリックが鳴り ますが、次の数小節は音量が小さくなり、ほとんど聴こえなくな ります。停止させるまで、この数小節間隔のサイクルが続きます。

- **1.** CLICK 画面 (P.14) で、[F4] (QUIET CNT) ボタ ンを押して、トレーニングを開始します。
  - 最初の数小節はクリックが鳴ります。クリックが発音する最後 の小節になると、画面に「Ready」と表示されます。





• Quietの区間のあと、正確なテンポで叩いた割合が「%」で 表示されます。



**2.**トレーニングを終了するときは、[F5] (STOP) ボタン を押して、CLICK 画面に戻ります。

## クワイエット・カウントの設定をする

QUIET COUNT 画面で [F2] (SETUP) ボタンを押すと設定画 面が表示されます。



パラメー ター	設定値	説明	
Measures 2、4、8、16 (小節)		「クリック発音」と「Quiet」の繰り返し区間の長さ(小節)を設定します。	
	Measures で設定した小 さを設定します。	節のうち、Quiet にする小節の長	
	RANDOM	Quiet の区間が毎回ランダムに設 定されます。	
Quiet		設定した長さ(小節)が Quiet の区間に設定されます。	
	1、2、4	※ Measures で設定した長さの 半分より大きい長さを設定する ことはできません。	

## お気に入りのドラム・キットを登録する 「呼び出す (FAVORITE)

お気に入りのドラム・キットを「フェイバリット」に登録しておくと、 即座に呼び出すことができます。

#### フェイバリットに登録する

- 1. 登録したいドラム・キットを選びます (P.13)。
- 2. DRUM KIT 画面 (P.13) で、 [F5] (MENU) ボタン を押します。
- 3. PAGE [UP] ボタンを数回押して、KIT SETTINGS 画 面を表示します。
- **4** [F3] (FAVORITE) ボタンを押します。
- 5. [R2] つまみを回して、フェイバリットを「ON」にします。



6. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。 フェイバリットに登録したドラム・キットは、DRUM KIT 画面にア イコンが表示されます。



## フェイバリットを呼び出す

1. DRUM KIT 画面で、[R2](FAVORITE)つまみを回し ます。

フェイバリットに登録したドラム・キットの一覧が表示されます。

DRUM KIT	FAVORITE LIST							
	1 1 TD-50 2 2 Kit Name 1 3 3 Kit Name 2							
@ LIST	@ SELECT OK							

2. 呼び出したいドラム・キットを選び、[F5] (OK) ボタン を押します。

選んだドラム・キットに切り替わります。

#### XE

フェイバリットに登録したドラム・キットを解除するときは、フェ イバリットを「OFF」にします。

## 演奏を録音する

自分の演奏を簡単に録音して、再生することができます。 ※ SD カードに録音する場合は、あらかじめ SD カードを挿入し ておきます (P.7)。

## 録音する

**1. DRUM KIT 画面 (P.13) で [●] ボタンを押します**。 RECORDER 画面が表示され、録音のスタンバイ状態になります。



#### XE

クリックに合わせて録音したいときは、クリックを鳴らします (P.14)。

- 2. [F5] ボタンを押して、「DRUM only」を選びます。
- 3. [R1] つまみを回して、録音先を選びます。

表示	説明
TEMPORARY	本体の一時的なエリアに録音します(1曲)。 TEMPORARYに録音したデータを、SDカードにコピー することもできます。詳しくは『リファレンス・マニュアル』 (PDF)をご覧ください。 ※ TEMPORARYの録音データは、電源を切ると消去 されます。
SD#01 ~ 99	SD カードに録音します(99 曲)。 ※ TD-50 に SD カードを挿入していないと、選ぶこと はできません。

#### XE

録音データのある録音先に上書きしてもよい場合は、[R2] つまみを回して「Overwrite」にチェックを入れておきます。 チェックをはずしておくと、誤って録音データが上書きされる ことがないため便利です。

4. [▶/■] ボタンを押して、録音を始めます。

5. もう一度 [▶/■] ボタンを押して、録音を終了します。

## 再生する

6. [▶/■] ボタンを押します。

#### 録音した演奏が再生されます。



#### XE

[R1] つまみを回して、他の録音したソングを選ぶこともできます。

7. [▶/■] ボタンを押して、再生を終了します。

#### 本体に録音した内容を、SD カードに書き出すこと ができます

SONG 画面(REC DATA タブ)で[F4](EXPORT)ボ タンを押すと、本体に録音したソングを、オーディオ・デー タや SMF で SD カードに書き出すことができます。詳しく は『リファレンス・マニュアル』(PDF)をご覧ください。

## ソングに合わせて演奏を録音する

ソングに合わせてドラムを録音することができます。

### 録音する

- **1.** ソングを選びます (P.14)。
- 2. [●] ボタンを押します。 RECORDER 画面が表示され、録音のスタンバイ状態になります。

3. [F5] ボタンを押して、「with SONG」を選びます。



オーディオ・ファイルのソングのみ、「with SONG」を選ぶこと ができます。

4. [R1] つまみを回して、録音先を選びます。

#### XE

録音データのある録音先に上書きしてもよい場合は、[R2] つまみを回して「Overwrite」にチェックを入れておきます。 チェックをはずしておくと、誤って録音データが上書きされる ことがないため便利です。

- **5.** [►/■] ボタンを押して、録音を始めます。 録音の開始と同時に、ソングが再生されます。
- 6. もう一度 [▶/■] ボタンを押して、録音を終了します。

#### 再生する

7.録音した演奏を再生します。

## パソコンに接続して録音する

パソコンと接続して、DAW へ 10ch のマルチ・トラックでオーディ オ録音したり、MIDI で録音したりすることができます。

#### 参照

詳しくは『リファレンス・マニュアル』 (PDF) をご覧ください。

## USB ドライバーをインストールする

USBドライバーは、パソコン上のソフトウェアとTD-50との間 でデータをやりとりするソフトウェアです。 USB AUDIO として音声を送受信するには、USBドライバーの

USB AUDIO として音声を达受信するには、USBドライハーの インストールが必要です。



#### XE

USBドライバーのダウンロードとインストール手順について詳 しくは、ローランドのホームページをご覧ください。 http://www.roland.co.jp/support/

### 設定の保存

TD-50 では、変更した値は自動的に保存されるため、設定 を保存する操作は必要ありません。 また、電源をオフにするときも設定が保存されます。

## インストゥルメントをエディットする (INSTRUMENT)

スネア・ドラム、キック・ドラムなど、それぞれのインストゥルメ ント(楽器音)を設定します。

#### 参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF) をご覧ください。

#### 1. [INSTRUMENT] ボタンを押します。

INSTRUMENT 画面が表示されます。

/ INST	T BASIC 1	BASIC 2	ADVANCE
INSTRUMEN	іт	H&R HE	ADISNARE 1
ISNARE A			<i>~</i>
Maple	uii finisn		
	CI - 11 B +1		
001	Shell Depth		
001	3.3	COMICO	H&R

#### 2. 設定するパッドを選びます。

3. インストゥルメントの設定を変更します。

#### XE

パソコンで作成したオーディオ・ファイルを、SD カードから TD-50 に取り込み、インストゥルメントとして鳴らすことができ ます (P.21)。

4. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

#### 参照

- [F5](H&R)ボタンが表示されている画面では、ヘッド部やリム部など、叩き分ける場所ごとにパラメーターを設定することができます。詳しくは『リファレンス・マニュアル』(PDF)をご覧ください。
- 2 つのインストゥルメントを重ねて鳴らしたり、叩く強さに応じて切り替えたりできます (SUB INSTRUMENT)。詳しくは『リファレンス・マニュアル』 (PDF) をご覧ください。

## 設定するパッドを選ぶ

#### パッドを叩いて選ぶ

各パッドの設定をするときは、設定するパッドを叩いて選びます。 パッドのリム側を選ぶときは、リムを叩きます。

#### XE

[LOCK] ボタンを押してボタンを点灯させておくと、設定 するパッドが切り替わらないようにすることができます。フ レーズを演奏しながら設定するときに便利です。

#### SELECT [◀] [▶] ボタンでパッドを選ぶ

SELECT [◀] [▶] ボタンを使って、設定するパッド (トリガー・インプット番号)を選ぶこともできます。 [RIM] ボタンは、リム対応のパッドを使うときに、ヘッド側とリ ム側のどちらを設定するのかを選びます。3 ウェイ・トリガー対 応パッドの場合は、ヘッド側、リム側、ベル側を切り替えます。 リム側またはベル側を選んでいるときは、[RIM] ボタンが点灯 します。

## インストゥルメントを選ぶ

- 1. [INSTRUMENT] ボタンを押します。
- **2.** PAGE [UP] ボタンを数回押して、INSTRUMENT 画面 を表示します。
- 3. [F1] (INST) ボタンを押します。

( INST	ך BASIC 1	BASIC 2	ADVANCE
INSTRUMEN	іт	H&R HE	ADISNARE ]
ISNARE A			
Maple	uil finish		
Inst	Shell Deeth	Head Type	
001	5.5	COATED	H&B

- 4.設定するパッドを選びます。
- 5. [R1] つまみを回して、インストゥルメントを選びます。
- **6.** [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

#### 参照

選べるインストゥルメントについては、『データ・リスト』 (PDF) をご覧ください。 English

日本語

Deutsch

# Português

## パッドの音を試聴する([PREVIEW] ボタン)

現在選んでいるパッドの音は、[PREVIEW] ボタンを押して鳴 らすことができます。

ボタンを押す強さで音量が変わります。また、音量を固定する こともできます。詳しくは『リファレンス・マニュアル』 (PDF) をご覧ください。

#### XE

[SHIFT] ボタンを押しながら [PREVIEW] を押すと、スネ アのヘッド外周部の音やシャロウ・リム・ショット、ハイハット のクローズド音色なども鳴らすことができます。

## 演奏する場所の残響を再現する (AMBIENCE)

ドラムを演奏する場所の残響や鳴りかたを再現します (アンビエンス)。 ルーム・アンビエンス (部屋の種類や大きさ)、リバーブ (残響音)

などを調節することで、より自然で臨場感のあるドラム・サウンドが得られます。

#### 参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』(PDF) をご覧ください。

#### **1.** [AMBIENCE] ボタンを押します。

アンビエンス設定画面が表示されます。



- 2. アンビエンスの設定を変更します。
- 3. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

アンビエンスをオン/オフする

- 1. [AMBIENCE] ボタンを押します。
- **2.** PAGE [UP] ボタンを数回押して、AMBIENCE 画面を 表示します。
- 3. [F1] ~ [F3] ボタンを押して、オン/オフを切り替えます。

 ボタン
 説明

 [F1] ボタン
 ルーム・アンビエンスをオン/オフします。

 [F2] ボタン
 リバーブをオン/オフします。

 [F3] ボタン
 エンハンサーをオン/オフします。

## ミキサーをエディットする(MIXER)

パッドごとに音量設定したり、音にさまざまな効果(エフェクト) をかけたりします。

#### 参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF) をご覧ください。

- **1.** [MIXER] ボタンを押します。 ミキサー設定画面が表示されます。
- 2. 設定するパッドを選びます (P.17)。
- 3. ミキサーの設定を変更します。
- 4. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

#### パッドごとの音量を調節する

パッドごとの音量を調節します。

参照

パッドごとにパン(定位)や最小音量を設定することもできます。詳しくは『リファレンス・マニュアル』(PDF)をご覧ください。

- **1.** [MIXER] ボタンを押します。
- 2. PAGE [UP] ボタンを数回押して、最上部のページを表示します。
- **3. [F1] (VOLUME) ボタンを押します。** MIXER VOLUME 画面が表示されます。

■ MIXER VOLUME (HERDIENARE 0.0 K S 1 2 3 4 H C C R A A A <sup>de</sup> 0 0000000000000000000000000000000000	۶P	GRF	JTE	MU	)L	Ve	MIN			AN	Pf		_	ME	VOLT	
0.0 KS 1 2 3 4 H C C R A A A <sup>46</sup> 0 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00 00	1	RE	SNP	90 E	HE	18.F						١E	ມມາ	võ	IXER	• P
<sup></sup>	<u>A</u>	<u>A</u> (	8	<u>A</u>	R		<u>c</u>	H	4	3	2	1	S	ĸ	0.0	
	00	00	<b>.</b>	œ١		001	00	00	00	œ	œ	ò	ൽ	۲	dB	
																ľ

4. 設定するパッドを選びます (P.17)。

5. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、値を変更します。

#### キットをカスタマイズする

# English

## エフェクトをかける

パッドごとに音量変化(パッド・コンプレッサー)と音質 (パッド・イコライザー)を調節したり、最大3つのエフェクト を設定してドラム・キットに効果をかけたりすることができます (マルチ・エフェクト)。

#### 参照

- 設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF) をご覧ください。
- ドラム・キット全体にコンプレッサーやイコライザーをかけ ることができます(マスター・コンプレッサー、マスター・ イコライザー)。詳しくは『リファレンス・マニュアル』(PDF) をご覧ください。
- **1.** [MIXER] ボタンを押します。
- 2. PAGE [UP] [DOWN] ボタンを押して、設定画面を表 示します。

#### PAD EQ 画面



#### PAD COMPRESSOR 画面

	그는 것 같은 것 같		COMP ON
PAD CO	MP MST PHO DIR		[SNARE ]
	Type SNARE 1		IN GR OUT
	Threshold Gain	-20dB +2.0dB -6	=
COMP	Ratio 4:1 Attack Knee HARD Release	20m5 -36 300m5	
TYPE	THRSLD	GAIN	

#### MULTI EFFECT 画面

	MFX	ASSIGN	SEND	DRY+MFX
- 6	DIT	MFX1		
TΥ	ире Г	DELAY	Level O	اھي و. 0.
1	DELY	BPM Sync Left	0FF 600[msec	
5	сно	BPM Sync Right	OFF	DELAY
3	DIST	Delay Right Time	600[msec]	ı 🛛 🖓
126	MEX SE			MEX1 ON

エフェクトの設定を変更します。

エフェクトをオン/オフする

- 1. [MIXER] ボタンを押します。
- 2. PAGE [UP] [DOWN] ボタンを押して、設定画面を表 示します。
- 3. ファンクション・ボタンを押して、オン/オフを切り替え ます。

画面	ボタン	説明
PAD EQ 画面	[F4] ボタン	パッド・イコライザーをオン/オフし ます。
PAD COMPRESSOR 画面	[F4] ボタン	パッド・コンプレッサーをオン/オフ します。
MULTI EFFECT 画面	[F5] ボタン	[R1] つまみで選んだマルチ・エフェ クト1~3をオン/オフします。



選択直後の設定に戻すときは、[F2] または [F3] ボタ ンを押して、戻すドラム・キットの設定を選びます。

現在のドラム・キットの設定のままにするときは、[KIT] ボタンを 押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

8. [F4] (RESTORE) ボタンを押します。 確認メッセージが表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

- 9. [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。 現在のドラム・キットの設定が、手順7で選んだドラム・キットの 設定に戻ります。
- **10.** [KIT] ボタンを押して、 DRUM KIT 画面に戻ります。

Português

Nederlands

## ドラム・キットをエディットする (MENU)

ドラム・キットの音量や操作子の点灯色などを設定します。

#### 参照

設定できるパラメーターについては、『データ・リスト』 (PDF) をご覧ください。

**1.** DRUM KIT 画面(P.13)で、[F5](MENU)ボタン を押します。

メニュー画面が表示されます。

/ VOLUME \	COL	.OR		F	-A	VOR	г	ΓE		- N	IAM	E	
KIT SETTINGS													
	M	ASTE	R P	HONI	s	1 2		э 4	5	i 6	1	? E	
Kit Volume	0.5												• II
	-6-												- H
0 00	-18 -												1
0.0 <sub>48</sub>	- 36 -												' - H

- 2.ドラム・キットの設定を変更します。
- 3. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

#### 音量を設定する

ドラム・キットの音量を設定します。

- **1.** DRUM KIT 画面(P.13)で、[F5](MENU)ボタン を押します。
- **2. PAGE [UP] ボタンを押して、最上部のページを表示します。** KIT SETTINGS 画面が表示されます。
- 3. [F1] (VOLUME) ボタンを押します。



4. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、値を変更します。

設定値 -INF ~ +6.0dB

[KIT] ボタンやつまみの点灯色を設定する

ドラム・キットごとに、[KIT] ボタンやつまみの点灯色を変えるこ とができます。

ドラム・キットのジャンルに合わせて点灯色を変えたり、インストゥ ルメントの作り込みの目安にしたりするなど、識別したいときに便 利です。

 KIT SETTINGS 画面で、[F2] (COLOR) ボタンを押し ます。



2. カーソル・ボタンで点灯色を選びます。

設定値 1~10

#### ドラム・キットの名前を変更する

現在選んでいるドラム・キットの名前を変更します。

**1.** KIT SETTINGS 画面(P.20)で、[F4](NAME)ボ タンを押します。

DRUM KIT NAME 画面が表示されます。



#### 2. 名前を変更します。

キット・ネーム(上段)は12文字、サブ・ネーム(下段)は16 文字まで入力できます。

操作子	説明
カーソル・ボタン	変更する文字にカーソルを合わせます。
[-] [+] ボタン、ダイヤル	文字を変更します。
[R1] (ABC) つまみ	大文字を選びます。
[R2] (abc) つまみ	小文字を選びます。
[R3] (123) つまみ	数字を選びます。
[F3] (INSERT) ボタン	カーソル位置に空白を挿入します。
[F4] (DELETE) ボタン	カーソル位置の文字を削除します。

3. [F5] (EXIT) ボタンを押して、DRUM KIT NAME 画 面から抜けます。

## オーディオ・ファイルを取り込む/鳴らす (USER SAMPLE)

パソコンで作成したオーディオ・ファイルを、SD カードから TD-50に取り込み、インストゥルメントとして鳴らすことができます (ユーザー・サンプル機能)。ユーザー・サンプルは、他のイン ストと同じように、音色を調節したり、エフェクトをかけたりでき ます。

## TD-50 に取り込めるオーディオ・ファイル

	WAV ファイル
形式(拡張子)	WAV (.wav)
サンプリング周波数	44.1kHz
ビット数	16、24 ビット
時間	最大 180 秒

※16文字以上のファイル名やフォルダー名は、正しく表示されません。また、2バイト文字を使ったファイルやフォルダーには対応していません。

## オーディオ・ファイルを取り込む

オーディオ・ファイルをユーザー・サンプルとして、TD-50 に取り 込みます。

- 1. SD カードを TD-50 に挿入します (P.7)。
- 2. [SHIFT] ボタンを押しながら [SETUP] ボタンを押します。
- **3.** PAGE [UP] ボタンを押して、最上部のページを表示します。
- **4. [F1] (IMPORT) ボタンを押します**。 USER SAMPLE IMPORT 画面が表示されます。



カーソル・ボタン	機能
[▲] ボタン	カーソルの移動(上)
[▼] ボタン	カーソルの移動(下)
[◀] ボタン	フォルダーを抜ける
[▶] ボタン	フォルダーに入る

**5.** カーソル・ボタンでオーディオ・ファイルを選び、[F5] (SELECT)ボタンを押します。

USER SAMPLE IMPORT (DESTINATION) 画面が表示されます。

		DELE	TE <u>II</u> PREVIEW)	
USER SAMP	LE IMPORT	(DESTINATIO	DN) REMAIN: 9	92
P	MySampl	e01.wav		
	003 J 2T 004 J P_	emp_Full8 Gong		
(**************	005			
SAMPLE			[ IMPORT	

- 6. カーソル・ボタンでインポート先の番号を選び、[F5] (IMPORT) ボタンを押します。
  - ※ すでにデータがある番号を選ぶと、「User Sample Exists!」 とメッセージが表示されます。データのない番号を選んでく ださい。

**7.** [F5] (IMPORT) ボタンを押します。 確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

**8.** [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。 オーディオ・ファイルが取り込まれます。

## ユーザー・サンプルをインストゥルメントに 割り当てる/鳴らす

- 1. [INSTRUMENT] ボタンを押します。
- **2.** PAGE [UP] ボタンを数回押して、INSTRUMENT 画面 を表示します。
- 3. [F1] (INST) ボタンを押します。

	BASIC 1	BASIC 2	ADVANCED
INSTRUMENT		H&R HE	ADISNARE 1
ISNARE A			
Jarrah	Ply S		
Inst	Shell Depth	Head Type	
042	8.5	CUATED	H&R

- 4. 設定するパッドを選びます (P.17)。
- 5. インストゥルメントのカテゴリーにカーソルを合わせ、[-] [+] ボタンまたはダイヤルで「USER SAMPLE」を選 びます。

	ADVANCED
	H&R HEAD [SNARE ]
USER SAMPLE	( <del>1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (1) (</del>
ZTEMP_Bas\$4	
	USER
Inst	SHUFLE
0001	H&R

English

日本語

Deutsch

Français

**6.** [R1] つまみを回して、ユーザー・サンプルを選びます。

#### 7. [KIT] ボタンを押して、DRUM KIT 画面に戻ります。

ユーザー・サンプルを割り当てたパッドを叩くと、ユーザー・サンプルが鳴ります。

#### 参照

ユーザー・サンプルは、他のインストと同じように、音色を調 節したり、エフェクトをかけたりできます。詳しくは『リファレ ンス・マニュアル』(PDF)をご覧ください。 Españo

## トリガーの設定

パッドからの信号を TD-50 が確実に処理できるように、トリガーの設定をします。

## パッドの種類を設定する

トリガー・バンクで使用するパッドの種類(トリガー・タイプ)を、 トリガー・インプットごとに指定します。

#### トリガー・タイプ

トリガー・タイプは、さまざまなトリガーのパラメーターを、 各パッドに適した値に調整し、ひとまとめにしたものです。 各トリガー・インプットで使っているパッドに最適な設定を するために、接続しているパッドの型番(タイプ)を指定し ます。

#### トリガー・バンク

トリガー・バンクは 14 個のトリガーの設定を 1 つにまとめ たものです。

#### 参照

トリガー・バンクについて、詳しくは『リファレンス・マニュ アル』 (PDF) をご覧ください。

#### 1. [TRIGGER] ボタンを押します。

2. PAGE [UP] ボタンを数回押して、最上部のページを表示します。

#### 3. [F1] (BANK) ボタンを押します。

TRIGGER BANK 画面が表示されます。 トリガー・バンク・ナンバー

$\sim$	BANK L D	IGITAL	SENS	HI-HAT
11	IGGER BANK		н	EADISNARE ]
Ba	<u>nk No. 1)</u> TD	-50K		
	K KD120 5 [FD140DS1 1 PDX100 2 PDX100 3 PDX100	T4 PDX100 HH VH11 C1 CY12C C2 CY13R P [CY18D	A1 A2 A3 A4 RJ	CY12C CY12C PDX100 PDX100 PDX100

トリガー・タイプ

#### 4. 設定するパッドを選びます (P.17)。

カーソル・ボタンで選ぶこともできます。

パッド	説明
K	KICK
S	SNARE
T1~4	TOM1~4
HH	HI-HAT
C1、2	CRASH1,2
R	RIDE
A1~4	AUX1~4

#### **5.** [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、トリガー・タイプを 設定します。

※ デジタル接続対応のパッドが割り当てられているトリガー・イ ンプットは、トリガー・タイプを変更することはできません。

#### 参照

トリガーの設定について、詳しくは『リファレンス・マニュアル』 (PDF)をご覧ください。

#### パッドの感度を調節する

パッドの感度を調節し、叩く強さと音の大きさのバランスを調節 します。

- **1.** [TRIGGER] ボタンを押します。
- 2. PAGE [UP] ボタンを数回押して、最上部のページを表示します。
- 3. [F3] (SENS) ボタンを押します。

TRIGGER SENS 画面が表示されます。



- 4. 設定するパッドを選びます (P.17)。
- 5. カーソル・ボタンを押して、「Sensitivity」を選びます。
- 6. [-] [+] ボタンまたはダイヤルで、感度を調節します。

#### 参照

パッドの感度調節について、詳しくは『リファレンス・マニュアル』 (PDF)をご覧ください。

#### 設定する

日本語

Deutsch

Français

Italiano

## データをバックアップする

TD-50 に記憶されているすべての設定を、SD カードに保存 (バックアップ) したり、TD-50 に書き戻したり (ロード) すること ができます。

#### XE

ドラム・キットごとにバックアップ/ロードすることもできます。 詳しくは『リファレンス・マニュアル』(PDF)をご覧ください。

## SD カードにバックアップする

TD-50 に記憶されているすべての設定を保存します (最大 99 セット)。

- **1.** SD カードを TD-50 に挿入します (P.7)。
- 2. [SD CARD] ボタンを押します。
- 3. PAGE [UP] [DOWN] ボタンを押して、SD CARD BACKUP ALL 画面を表示します。
- 4. [F1] (SAVE) ボタンを押します。

SD CARD SAVE <BACKUP ALL> 画面が表示されます。



5. バックアップの設定をします。

パラメーター	説明
With User Sample	ユーザー・サンプルをバックアップするか選び ます。
Bank Number	バックアップ番号を選びます。

※ ユーザー・サンプルもバックアップする場合、ユーザー・サン プルのサイズによっては、保存に数分かかることがあります。 また、ユーザー・サンプルをバックアップしない場合、ユーザー サンプルを削除したり、リナンバーしたりすると、バックアップ を読み込んでも、キットは正しく再現されません。

6. [F5] (SAVE) ボタンを押します。

## XE

バックアップ・データに名前を付けたいときは、[F4] (NAME) ボタンを押して、名前を付けます (P.20)。

**7.** [F5] (EXECUTE) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは [CANCEL] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

8. [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD カードに設定が保存されます。

## バックアップ・データを SD カードから読み 込む

SD カードに保存したバックアップ・データを TD-50 に読み込みま す (ロード)。

- **1.** SD カードを TD-50 に挿入します (P.7)。
- 2. [SD CARD] ボタンを押します。
- 3. PAGE [UP] [DOWN] ボタンを押して、SD CARD BACKUP ALL 画面を表示します。
- 4. [F2] (LOAD) ボタンを押します。 SD CARD LOAD <BACKUP ALL> 画面が表示されます。



#### 5. ロードの設定をします。

パラメーター	説明
With User Sample	ユーザー・サンプルをロードするか選びます。
Bank Number	バックアップ番号を選びます。

※ ユーザー・サンプルを読み込むと、本体内のユーザー・サン プルはすべて消去されます。また、ユーザー・サンプルのサ イズによっては、読み込みに10分以上かかることがあります。

#### 6. [F5] (LOAD) ボタンを押します。

確認画面が表示されます。



中止するときは [CANCEL] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

#### 7. [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。

SD カードからバックアップ・データが読み込まれます。

## SD カードを初期化する

SD カードを初期化(フォーマット)します。

※ 初めてTD-50でSDカードを使うときは、SDカードをフォーマットしてください。

#### ご注意!

SD カードを初期化すると、SD カード内のデータはすべて消去されます。

- **1.** SD カードを TD-50 に挿入します (P.7)。
- 2. [SD CARD] ボタンを押します。
- 3. PAGE [UP] [DOWN] ボタンを押して、SD CARD UTILITY 画面を表示します。
- **4.** [F3] (FORMAT) ボタンを押します。 SD CARD FORMAT 画面が表示されます。 SD CARD FORMAT



**5.** [F5] (FORMAT) ボタンを押します。 確認画面が表示されます。



中止するときは「CANCEL」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

**6.** [OK] を選び、[ENTER] ボタンを押します。 SD カードが初期化されます。

## TD-50 全体の設定をする(SETUP)

TD-50 の出力先の設定や、フットスイッチの設定など、TD-50 全体で共通の設定を「セットアップ」といいます。

#### 1. [SETUP] ボタンを押します。

SETUP MENU 画面が表示されます。



**2.** PAGE [UP] [DOWN] ボタンとファンクション・ボタンで、 設定したいメニューを選びます。

メニュー	説明		
OUTPUT	音の出力先の設定をします。		
USB AUDIO	USB オーディオの設定をします。		
OPTION	プレビュー・ボタン、MIX IN 端子、ディスプレイな どの設定をします。		
CONTROL	フットスイッチやパッドに機能を割り当てます。		
MIDI	MIDIの設定をします。		
AUTO OFF	AUTO OFF の設定をします (P.9)。		
INFO	本体メモリーの残量やプログラムのバージョンを確 認します。		
FACTORY RESET	工場出荷時の設定に戻します。		

3. 選んだメニューに応じて、設定を変更します。

#### 参照

各メニューについて、詳しくは『リファレンス・マニュアル』 (PDF) をご覧ください。

## E場出荷時の設定に戻す

TD-50 に記憶されている設定値を、工場出荷時の状態に戻します。これをファクトリー・リセットと呼びます。

#### ご注意!

この操作をすると、TD-50にあるデータや設定がすべて失われます。必要なデータや設定は、SDカードに保存してください(P.23)。

**1.** SETUP MENU 画面で、[F1] (FACTORY RESET) ボ タンを押します。

FACTORY RESET 画面が表示されます。

FACTORY RE	SET	
FACTORY	Clear All Data and Load Factory Preset Data.	
	Reset with User Sample	
		FACTORY RESET

#### XE

すべてのユーザー・サンプルも工場出荷時に戻す場合は、[-] [+] ボタンまたはダイヤルで、「Reset with User Sample」 にチェックを入れます。ユーザー・メモリーのすべてのユー ザー・サンプルは、工場出荷時のデータに上書きされます。

2. [F5] (FACTORY RESET) ボタンを押します。

#### 確認画面が表示されます。



中止するときは 「CANCEL」 を選び、 [ENTER] ボタンを押します。

3.「OK」を選び、[ENTER] ボタンを押します。

ファクトリー・リセットが実行されます。

# トラブルシューティング

症状	確認事項	対策	ページ	Eng
音に関するトラブル				glis
	各パッドやペダルにケーブルが正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.8	1 5
	インストゥルメントが「OFF」になっていませんか?	インストゥルメントを割り当ててください。	P.17	
	インストゥルメントの「Volume」が下がっていませんか?	インストゥルメントの「Volume」を調節してください。	➡ PDF	
	「OUTPUT」は正しく設定されていますか?	「OUTPUT」の設定を確認してください。	➡ PDF	_
特定のパッドの音が出ない	フェーダーが下がっていませんか?	フェーダーを調節してください。	P.11	
	ユーザー・サンプルが削除されていませんか?	パッドに割り当てられているユーザー・サンプルを削除すると、 音が出なくなります。 もう一度ユーザー・サンプルを取り込むか、他のインストゥル メントを割り当ててください	P.21	
	/パッドの「トリガー・タイプ」は正しく設定されていますか?	パッドの「トリガー・タイプ」を設定してください。	P.22	
	TRIGGER IN 端子または DIGITAL TRIGGER IN 端子に、接続ケーブルが正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.8	Цр
	本機と外部機器が正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.8	
	本機の音量が下がっていませんか?		P.11	
	接続しているアンプ内蔵スピーカーのボリュームが下がってい ませんか?	適正なレベルに調節してください。	-	
音が出ない/音が小さい	オーディオ・システムの入力切り替えは正しいですか?	オーディオ・システムを確認してください。	-	
	MIX IN 端子に接続した機器のボリュームは下がっていませんか?	適正なレベルに調節してください。	-	Deut
	本機の入力レベルが下がっていませんか?	[MIX IN] つまみを回して適正なレベルに調節してください。	P.6	scl
	「Local Control」が「OFF」になっていませんか?	通常は「ON」に設定します。	➡ PDF	5
TRIGGER IN 端子に接続した パッドを叩いても音が出ない/ト リガーが反応しない	DIGITAL TRIGGER IN 端子に接続したパッドを、TRIGGER IN 端子に接続したパッドと同じトリガー・インプットに割り当て ると、TRIGGER IN 端子に接続したパッドの音は出力されま せん。	DIGITAL TRIGGER IN 端子からパッドの接続ケーブルを抜い てください。	P.8	
	トリガー・インプットを正しく設定していますか?	パッドを接続したら、どのトリガー・インプットで鳴らすか設定 してください。	P.8	
DIGITAL TRIGGER IN 端子に 接続したパッドを叩いても音が 出ない/トリガーが反応しない	カーボン製や金属製のスティックを使っていませんか?	木製や樹脂製のスティックをお使いください。カーボン製や金 属製のスティックを使うと、センサーが誤動作することがあり ます。	-	França
	金属製のブラシを使っていませんか?	ナイロン製のブラシをお使いください。金属製のブラシを使うと、センサーが誤動作したりパッドを傷つけることがあります。	-	is
SD カードに関するトラブル				
SD カードを挿入しても認識され ない/データが見えない	正しくフォーマットされていますか?	本機で SD カードをフォーマットしてください。	P.24	
MP3 / WAV ファイルが再生 できない	MP3 ファイルのサンプリング周波数、ビット・レート、WAV ファ イルのサンプリング周波数、量子化ビット数は本機に対応して いますか?	本機に対応した MP3 / WAV ファイルをご使用ください。	P.14	lta
	高いビット・レートの MP3 で再生速度を上げると、再生が間 に合わない場合があります。		-	lian
A-B リピートの時刻設定が正し くできない	MP3 では A-B リピート区間を正しく再生することができない 場合があります。		-	<b>°</b>
	オーディオ・ファイルの形式は正しいですか?	オーディオ・ファイルの形式、ファイル名、拡張子を確認して ください。	P.14	
ノ取り込めない	オーディオ・ファイルの置き場所は正しいですか?	オーディオ・ファイルの置き場所を確認してください。	➡ PDF	
	多数のオーディオ・ファイルをフォルダー内に置いていませ  んか?	フォルダー内のオーディオ・ファイルは、 200 個以下にしてく ださい。	-	
USB に関するトラブル				E E
パソコンと接続できない	USB ケーブルが正しく接続されていますか?	接続を確認してください。	P.7	pa
	USB AUDIO として音声を送受信するには、USB ドライバー のインストールが必要です。	パソコンに USB ドライバーをインストールしてください。	P.16	ñol
	USB 2.0 対応のケーブルを使用していますか?	USB 3.0 対応のケーブルは使用できません。USB 2.0 対応の ケーブルを使用してください。	-	
	Driver Mode は正しく設定されていますか?	使いかたに応じて変更してください。	⇒ PDF	_
MIDI に関するトラブル				
音が出ない	MIDI ケーブルが止しく接続されていますか?	技術を確認してください。	P.8	_
	IVIIDI ナヤンイルは合つといますか? ノート・ナンバーは合っていますか?	伞 (𝔄 Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ Δ		100
				- <b>-</b>

rtuguês

# 操作早見一覧

## 演奏する

- ドラム・キットを選ぶ [KIT] ボタン → [-] [+] ボタン、ダイヤル
- クリックを鳴らす

[CLICK] ボタン → [F5] ボタン

テンポの変更

[CLICK] ボタン ⇒ [F1] ボタン ⇒ [R1] つまみ

#### 拍子の設定

[CLICK] ボタン ⇒ [F1] ボタン ⇒ [R2] つまみ

#### ソングを選ぶ

[SONG] ボタン ➡ [F1] ~ [F3] ボタン、[−] [+] ボタン、 ダイヤル

ソングの再生/停止

[▶/■] ボタン

#### リズム・トレーニング

主な仕様

[CLICK] ボタン → [F4] (QUIET CNT) ボタン

フェイバリットに登録したドラム・キットを選ぶ

#### [KIT] ボタン ⇒ [F2] (FAVORITE) つまみ

## エディットする

#### フェイバリットにドラム・キットを登録する

[KIT] ボタン ⇒ [F5] (MENU) ボタン ⇒ [PAGE] (UP) ボタン (KIT SETTINGS 画面) ⇒ [F3] (FAVORITE) ボ タン ⇒ [R2] つまみ、[-] [+] ボタン

#### ボタンやつまみの点灯色の設定

[KIT] ボタン  $\Rightarrow$  [F5] (MENU) ボタン  $\Rightarrow$  [PAGE] (UP) ボタン (KIT SETTINGS 画面)  $\Rightarrow$  [F2] (COLOR) ボタ ン  $\Rightarrow$  カーソル・ボタン、[-] [+] ボタン、ダイヤル

## 録音する

#### 演奏の録音

[KIT] # #  $\Rightarrow$  [ $\bullet$ ] # #  $\Rightarrow$  [F5] # #  $\Rightarrow$  [R1]  $\Rightarrow$   $\Rightarrow$   $\Rightarrow$  [ $\blacktriangleright$ / $\blacksquare$ ] # #  $\Rightarrow$   $\Rightarrow$ 

#### ローランド TD-50:ドラム・サウンド・モジュール

ドラム・キット数	100				
エフェクト	パッド・コンプレッサー:パッドごと	リバーブ・タイプ:5 種類	マスター・コンプレッサー		
	パッド・イコライザー : パッドごと	ステレオ・エンハンサー	マスター・イコライザー		
	ルーム・タイプ:25 種類	マルチ・エフェクト:3系統、	30 種類		
	ユーザー・サンプル数:最大 500(製品出	荷時のユーザー・サンプルを	含む)		
ユーザー・サンプル	音の長さ (合計): モノラル 24 分、ステレ	オ12分			
	取り込み可能なファイル形式:WAV(44.1kHz、16/24 ビット)				
ソング・プレーヤー(SD カード)	オーディオ・ファイル:WAV(44.1kHz、16/24 ビット)、MP3				
	レコーディング方法:リアルタイム				
レコーダー	最大記憶音数:約 40,000 音				
	書き出しファイル形式:WAV (44.1kHz、	16 ビット)、SMF			
ディフプレイ	グラフィック LCD 256 × 80 ドット				
54,504	TRIGGER ACTIVITY インジケーター(LE	ED)			
電源	AC100V (50/60Hz)				
消費電力	30W				
外形寸法	330 (幅) × 255 (奥行) × 118 (高さ) mm				
質量	3.3kg				
	クイック・スタート				
付属品	電源コード				
	保証書				
	ローランド ユーザー登録カード				
別売品	パッド:PD シリーズ、PDX シリーズ、BT-	1 アコ・	ースティック・ドラム・トリガー:RT シリーズ		
	シンバル:CY シリーズ	フット	、スイッチ:BOSS FS-5U、FS-6		
	キック:KD シリーズ、KT シリーズ	/ ۴ <u>–</u>	ソナル・ドラム・モニター:PM-10		
	ハイハット:VH シリーズ				
	ハイハット・コントロール・ペダル: FD シリ	リーズ			

※本書は、発行時点での製品仕様を説明しています。最新情報についてはローランド・ホームページをご覧ください。